

令和5年度 第1回多摩区支え合いのまちづくり推進会議 会議録

会議の概要

開催日時		令和5年6月28日（水）13時30分から15時00分まで	
開催場所		多摩区役所 11階 1101～1103 会議室	
出席者の氏名	委 員	安陪修司（多摩区商店街連合会） 岩田和可（多摩区地域自立支援協議会 北部基幹 相談支援センター） 内田由美子（川崎市多摩区社会福祉協議会 地域課） 大澤敏夫（川崎市多摩区社会福祉協議会 菅地区社会福祉協議会） 大津努（稲田地区社会福祉協議会） 小川町子（多摩区食生活改善推進員連絡協議会）	奥沢邦雄（中野島地区社会福祉協議会） 和秀俊（田園調布学園大学） 岸忠宏（多摩区医師会） 小山富士子（多摩区子ども会連合会） 佐久間真弓（よみうりランド花ハウス 地域包括支援センター） 松本英嗣（多摩区町会連合会） 山岸勝子（多摩区老人クラブ連合会）
	多摩区地域包括ケアシステム推進本部幹事会・ 多摩区支え合いのまちづくり推進会議 事務局	藤井智弘（多摩区長） 町田昭一（危機管理担当課長） 鈴木智晴（総務課長） 相原剛史（企画課長） 上野進（地域振興課長） 柏原美由紀（生涯学習支援課長） 渡辺陽一（区民課長） 石渡慎也（保険年金課長） 吉澤朋充（生田出張所長） 荒木啓介（高齢・障害課長） 高橋みゆき（保護第1課長） 徳丸千大（保護第2課長） 小倉充子（衛生課長） 大谷里美（保育所等・地域連携担当課長）	武田克巳（地域みまもり支援センター所長） 浅見政俊（地域みまもり支援センター副所長） 中山礼子（地域ケア推進課長） 曾我利江（地域支援課長） 池田奈津恵（地域支援課地区支援第1係長） 林史大（地域ケア推進課企画調整係長） 杉本光一郎（地域ケア推進課企画調整担当係長） 高橋公（地域ケア推進課企画調整係）
欠席委員		有北郁子（多摩区こども総合支援連携会議） 木澤静雄（登戸地区社会福祉協議会） 永仮都子（生田地区社会福祉協議会） 松澤明美（多摩区民生委員児童委員協議会）	
議 事		（1）第7期川崎市・各区地域福祉計画の策定について （2）第6期多摩区地域福祉計画の令和4年度評価について （3）多摩区の現況と第6回川崎市地域福祉実態調査について （4）第7期多摩区地域福祉計画策定に向けた意見交換 （5）多摩区地域包括ケアシステムの取組状況について （6）その他	
傍聴人の数		なし	

配付資料	[配布資料] 資料 1…名簿 資料 2…第 7 期川崎市・各区地域福祉計画の策定について 資料 3…第 6 期多摩区地域福祉計画 計画の体系 資料 4…第 7 期多摩区地域福祉計画策定スケジュール 資料 5…第 6 期多摩区地域福祉計画における評価に係る考え方について 資料 6…第 6 期多摩区地域福祉計画 令和 4 年度評価 資料 7…多摩区の現況（統計データ） 資料 8…第 6 回地域福祉実態調査から見える課題について 資料 9…第 7 期多摩区地域福祉計画策定に向けた意見交換 資料 10…令和 5 年度 地域包括ケアシステム構築に向けた主な取組について 参考資料 1…多摩区支え合いのまちづくり推進会議運営要綱 参考資料 2…多摩区地域包括ケアシステム推進本部設置要綱 参考資料 3…令和 4 年度 第 2 回多摩区支え合いのまちづくり推進会議 会議録 参考資料 4…第 7 期川崎市・各区地域福祉計画・策定推進指針（案） 参考資料 5…第 6 期多摩区地域福祉計画 令和 4 年度事業評価シート 参考資料 6…第 6 回川崎市地域福祉実態調査（令和 4 年度調査）結果概要 多摩区版 参考資料 7…令和 5 年度「100 年続く人と動物のきずな」【市制 100 周年記念プレ事業】 参考資料 8…多摩区在宅療養推進協議会 市民シンポジウムチラシ [冊子資料] 第 6 期多摩区地域福祉計画 令和 5 年度多摩区（登戸・菅・中野島・稲田・生田）地区カルテ（共通フェイスシート） [封筒資料] 令和 5 年度第 2 回多摩区支え合いのまちづくり推進会議・令和 5 年度第 2 回多摩区地域包括ケアシステム推進本部会議幹事会開催通知一式
--------------------	---

議事要旨

発言者	発言要旨
事務局（中山課長）	次第1（開会）
	（会議録作成のため録音の承認）
藤井区長	次第2（挨拶）
事務局（中山課長）	配布資料の確認
事務局（中山課長）	次第3（議事）
	・多摩区地域自立支援協議会の委員の改選について ・進行役を和委員にお願いしたい旨提案→承認
和委員	御承認いただきました田園調布学園大学、和と申します、よろしくお願いいたします。 それでは次第に従い議事を進行する。 議事（1）について 事務局から説明をお願いします。
事務局（林課長補佐）	次第3（議事）
	（1）第7期川崎市・各区地域福祉計画の策定について 資料2・3・4/参考資料4の説明
和委員	続いて（2）第6期多摩区地域福祉計画の令和4年度評価について、事務局から説明をお願いします。
事務局（杉本係長）	次第3（議事）
	（2）第6期多摩区地域福祉計画の令和4年度評価について 資料5・6/参考資料5の説明
和委員	事務局から2つの議事を連続して報告いただいたが、この2つ合わせて御意見、御質問を頂きたい。 この会議は懇談会形式で、皆様から一言ずつ御意見を頂きたい。例えば、資料6で事務局から評価をピックアップして説明があったが、本日、御出席の委員の皆様が取り組まれていることもあると思うので、自分事としてもう一度見直してもらうとありがたい。 例えば、資料6の2枚目の基本目標に「多世代交流でつながる地域づくり」の「地域包括ケアシステムの推進」で菅地区の「地ケアつながりプロジェクト～TeamSUGÉ～」があるが、この活動の感想など御意見はあるか。
大澤委員	同じ地域内にあっても意外と横のつながりはないが、参加させていただいて、いろいろな団体等と交流し、つながりが出来たことが良かった。参加した方たちも非常に熱心に話をされ、活発な活動ができた。
和委員	菅地区は大きい地区であり、社会資源が豊富で歴史もあるので、知っているようで知らないことも多いかもしれない。素晴らしい取り組みであり、他の地区でも出来たら楽しそうだと思う。

発言者	発言要旨
松本委員	私も町会長ヒアリングを受けたが、町会が抱えている問題点と限界を把握いただいたのではないかと。それをどうしていこうかというのが町会長たちの問題意識である。若い人に入っただけなかったり、防災でもあまり関係ないという感じがしており、これからかと思う。 登戸地区にもNPOなどいろいろな団体があるが、お互いの活動内容を知らない団体が多いと思い、団体との交流を行った。発展途上であり、すぐに成果はでないが、その中では団体同士で今後協力していこうという様子が伺えた。
和委員	先日、私の所属する町会で防災訓練を行った。区の危機管理担当に出前講座をお願いし、その後川崎市の防災アプリで自分の住んでいる地域のハザードマップがどうなっているか確認してみた。しかし、高齢の方はQRコードを読むことから難しい。若い人にとって当たり前のことがシニア層の方々にはできないこともあるので、スマホ講座に防災を絡めたり、若い方とのコラボレーションから入っていくのもいいかもしれない。登戸地区にはいろいろな団体もあるので、一つテーマを決めてコラボレーションするのも面白いかもしれない。
奥沢委員	中野島多世代つながり愛プロジェクトのPRが行き届かなかったが、こども文化センターと協力した防災イベントで子どもへ水ヨーヨーを作り配布したところ、親子連れが大勢集まった。今年も行う予定である。 また、様々な資料や名札に梨のキャラクターのイラストを付けた。少しずつでもPRが行き届けば、このプロジェクトを知ってもらえると思う。
和委員	続いて（３）多摩区の現況と第６回川崎市地域福祉計画実態調査について、事務局から説明をお願いする。
事務局（杉本係長）	次第第３（議事）
	（３）多摩区の現況と第６回川崎市地域福祉計画実態調査について 資料７・８/参考資料６の説明
和委員	２つの調査結果について事務局から報告があり、なかなかシビアな結果が出てきたが、皆様方の普段の活動の中から気づいた点、感想や御意見を伺いたい。 例えば、資料７の８ページにて住民組織加入率が低い状況だが、この結果を受けて多摩区町会連合会の松本委員から御意見、御感想を伺いたい。
松本委員	約半数の世帯が町会に入っている状況は、川崎市の中で多摩区が特に低いとは思っていない。役員が高齢化しており、スマホは通話のみで、会議通知をメールで送ることや資料をパソコンで作成することは出来ない人が多い。若い人が入ってきてやれるといいと思う。 私たちの町会にできた大きな公園のオープニングイベントに、親子連れが多く参加した。若い人たちがInstagramを使ってPRしてくれたが、我々には出来ない。若い人たちがもっと主体的に動いてくれると、親同士のつながりから参加が増えるのではないかと。思う。 また、一人住まいの集合住宅が多く、そのような世帯はボランティア等に参加

発言者	発言要旨
	していただけていないという実態もあると思う。大きな集合住宅では回覧等の情報を見るだけで活動には参加していない世帯もあり、実態はもう少し低いと思う。
和委員	松本委員も仰ったように、若い人たちがやりたいことを応援するのは町会の役割として大事ではないかと思う。昨年度、町会がそこに住んでいる人の想いを形にする、出来る場になっていくと、町会や自治会に関わる人も増えるのではという話をさせていただいた。若い方々を応援するスタンスで頑張ってもらえると加入者も増えるのではないかと思う。 岸委員は地元でお祭りをなさっているが、お祭りも町会や自治会、老人クラブなど地域との関わりがあると思うが、御自身の経験も踏まえて御意見を伺いたい。
岸委員	諏訪神社がお祭りを開催していたが、コロナ禍を経て変えてみようということで町会と実行委員会をつくり、催し物も町の人の歌の発表会などをやり、コロナ禍明けということもあったが多くの人が集まった。今年はテストケースだったが、今後もこの形でやっていこうと思っている。 ただ、お神輿とか太鼓に参加した子どものうち何割かし子ども会に入っておらず、お祭りに来ている人で町会に入っているのは半分以下ではないか。新しい人を取り込むツールとして、お祭りや盆踊りの機会に町会への加入窓口をつくるとか、お神輿を担ぐ子どもにお菓子を渡す際に子ども会への加入を促すのもいいかと個人的には思う。
小山委員	ここ何年かは役員就任が嫌だと言って 60 人程度しか子ども会に入っていない。しかし、お祭りでは、お菓子を 300 個用意しても足りないくらいの参加があった。子どもは金の卵であり、子ども会に入っていない子にもお菓子を渡し、子ども会や町会への加入促進を行っているが、難しい。 一番は災害時に顔見知りだから手を貸そう、手伝おうというのが理想であり、顔を合わせて挨拶できる地域は犯罪が少ないと、大きな声を出しながら頑張っている。何かいい知恵があれば教えてほしい。
和委員	これだけ素晴らしい試みが揃っているので、いろいろな知恵を共有しながら進めていけたらと思う。 続いて（４）第 7 期多摩区地域福祉計画策定に向けた意見交換について、事務局から説明をお願いする。
事務局（杉本係長）	次第 3（議事）
	（４）第 7 期多摩区地域福祉計画策定に向けた意見交換
	資料 9 の説明
和委員	資料 9 は冒頭にあったとおり、第 6 期計画はコロナ禍であまり進まなかったこともあり、現行計画を踏襲して第 7 期を進めていくという流れで整理してお示ししたものである。 第 2 回で皆様方の御意見をいかして骨子案を整理していくことになる。資料 9 もさることながら、皆様方が今行っている現場の現状や課題を伺いたい。

発言者	発言要旨
	老人クラブの加入状況が少し減っているという調査結果もあったが、多摩区老人クラブ連合会の現状や課題があればお願いしたい。
山岸委員	コロナ禍により家に閉じこもる方が多くなり、転居や施設入所、デイサービスに通われる方が増え、若い方は入ってくださらない。 友愛活動や体力測定などの活動をしている方はいるが、老人会に対する意識の低下と高齢化から参加者が減少している。いかに若い方を増やすかが問題である。
松本委員	町会から助成して老人会と一緒に活動もしている。ここでいう「若い方」は20代、30代ではなく60代、70代のことである。その世代が入ってこないまま活動が続けていくと老人会の役員は80代、90代となり、後継者がいないため解散となる。高齢者は多いが入ってくれる人は少ない。身近な高齢女性に話を聞くと、コロナ禍で減ってしまった、人と話をする機会を求めている。何かをすれば参加してくれる感じはする。
和委員	私の身近な例では3町会連合の老人会は元気で生き生きと楽しそうに活動している様子が載った広報が回覧で回ってくる。地区によって違うのだろう。 コロナ禍もあったが、まずは楽しく集える場をつくることからリスタートしてもいいかもしれない。
大津委員	今年、宿河原エリアで七夕祭りを駅の商店街中心で行う。今まで地域の商店街で短冊を書いていたが、桜保存会のリーダーから地域が活性化するので老人会で書いて欲しいとの依頼があった。一人2枚で合計20枚書いたが、それぞれを見ると皆若い。自分が子どもの頃の気分で書いていた。地域の高齢者が書いた短冊を披露し、地域活性化につながればと思う。
和委員	七夕や日本の文化、伝統を上手く活用しながら、老人クラブの活動とつなげていく工夫をすると盛り上がり、子どもたちと一緒に出来ると良い。 今日は皆様方から御意見、御感想を頂いた。これを事務局と資料9や第7期計画の骨子案にどうかすか整理したい。 今日の会議で言い残したことが出てくると思うし、今日御参加頂けなかった委員もいらっしゃるので、事務局から御意見を記入いただくシートを共有し、忌憚のない御意見を引き続き頂ければと思う。 続いて（5）多摩区地域包括ケアシステムの取組状況について、事務局から説明をお願いします。
事務局（林課長補佐）	次第3（議事）
	（5）多摩区地域包括ケアシステムの取組状況について
	資料10の説明
和委員	最後に、議事3（6）その他について事務局から説明をお願いします。
事務局（中山課長）	次第3（議事） （6）その他 意見シートの説明

発言者	発言要旨
和委員	以上をもって議事を終了する。進行を事務局へお渡しする。
中山課長	和委員、議事の進行ありがとうございました。それでは閉会にあたり、地域みまもり支援センター所長の武田から御挨拶を申し上げる。
武田所長	次第４（挨拶）
中山課長	以上をもちまして、令和５年度第１回支え合いのまちづくり推進会議を閉会いたします。本日はどうもありがとうございました。